

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 3 - 3

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		エルタックス審査システム導入事業					
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名		課税係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	久保田和孝	氏名		中村文隆	
事業の概要	エルタックス(地方税電子申告システム)を活用し、住民税の年金特別徴収業務をはじめとした、関係機関との電子データの情報交換を行うための審査システムの導入を行う。 住民税年金特別徴収業務(平成21年度) 住民税国税データ連携業務(平成22年度)					全体計画 (平成 21 年度 ~ 24 年度)	
						事業費	国・道支出金
						地方債	千円
						その他	1,000 千円
						一般財源	4,028 千円
						事業費計	5,028 千円
実施方法	直営		民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)			登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	24	効果的・効率的な行政経営				
	単位施策	4	財政の安定化				
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等	地方税法(第321条の7の2 外)					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	1,000 千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額(一般財源)	千円	630 千円	2,292 千円	478 千円	478 千円	
	合計	千円	1,630 千円	2,292 千円	478 千円	478 千円	

744

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	・納税手続きの簡素化 ・税制改正に基づく対応	システム導入数、年金特別徴収者			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	電子情報技術を活用し、住民税の年金特別徴収業務等を円滑に実施する。	システム導入数	目標年度	平成21年度	
			目標値	1	
			実績値	1	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果=目的	・納税手続きの利便性の向上 ・効果的、効率的行政運営	前年度65歳以上で所得割額を有する納税義務者の7割を対象者として推計した。 333人×70%=233人	目標年度	平成21年度	
			目標値	233 人	
			実績値	245 人	
			達成度	105.2 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
システムの導入	民間ASP業者を介しエルタックス審査システム(個人住民税年金特別徴収業務)の構築を行った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地方税の改正に伴う、個人住民税の年金特別徴収の実施にあたり、平成22年12月までに、本システムの導入が必須となっていました。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	暫定措置として運用していたLGWAN文書交換システムからの移行のため、運用実績はありませんでしたが、スムーズな移行作業が実施できました。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	審査システムの導入にあたり、民間のASP業者を利用することにより、事業費の抑制を図った。また、21年度中に本事業を行ったことにより、助成金の交付を受けることができました。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	制度改正に伴う事業であり、新たに受益者に負担を求めるべきものではないことから公平と判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
平成23年1月から国税データ連携業務の開始が予定されていることから、計画どおり事業を進めることが必要であります。		

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持		
将来的には電子申告の導入も必要と考えますが、導入時期については、今後の情勢等を注視しながら、検討していきます。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--